

# まちの名に歴史あり

問い合わせ 社会教育課文化財係  
(TEL 893・8111)

ぼうりょう 元々は「坊領」という漢字だったと  
**坊龍** 思われます。坊領とは寺院などの荘園  
のことで、全国に地名として残って  
います。坊龍も室町時代に石清水八幡宮の荘園で  
あった可能性が高い土地です。

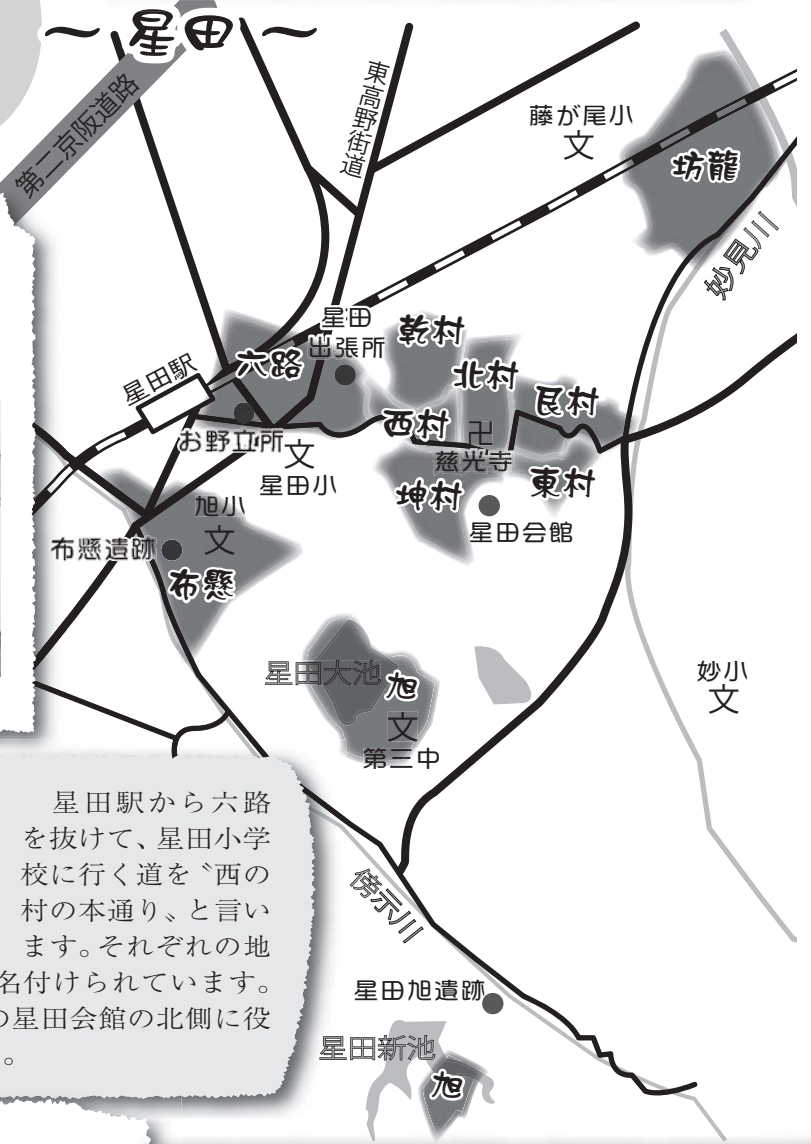
現在、南側は団地ですが、妙見川と天野川が合  
流する付近にあり、水田に適した土地でした。

ろくろ 六路は、道路が分かれる分  
**六路** 岐点を意味していると考えら  
れます。ここは東高野街道を  
中心として、星田・寝屋・高田などへ入  
る道と寝屋川に続く山根街道への分岐  
点となっています。

また、ここには「お  
野立所」の碑がありま  
す。これは大正3年  
11月16日の陸軍特  
別大演習が行われた  
際に、大正天皇が行幸  
されたことを記念し  
たものです。



お野立所の記念碑

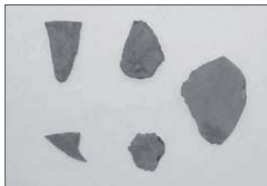


ひがしむら きたむら にしむら  
**東村・北村・西村・**  
うしとらむら いぬいむら ひつじさるむら  
**良村・乾村・坤村**

星田駅から六路  
を抜けて、星田小学  
校に行く道を「西の  
村の本通り」と言  
います。それぞれの地  
名は星田村の中心集落にあたり、方角から名付けられています。これら地名の中心は慈光寺付近です。現在の星田会館の北側に役場があり、村の政治の中心となっていました。

星田大池の西に  
ある小高い丘の下  
から、旭小学校・  
大谷橋にかけての平らな場  
所です。傍示川の自然堤防  
の東側にあるため、水田に  
適した土地でした。

昭和54年に、旭小学校の  
南側から、数mの範囲内で、  
10cmほどの深さから旧石器  
時代の石器128点が集中し  
て発見されました。



布懸遺跡試掘の様子(上)  
と、出土した石器(下)

あさひ 星田大池と第三中学校すべてを含む地域  
**旭** を旭と言いま  
す。

また、傍示川の上流  
の星田新池付近にも  
旭という地名があり、  
星田旭遺跡からは縄  
文時代の遺物も出土  
しています。



星田旭遺跡出土遺物

これらのことから、  
傍示川に沿って、縄文時代の人々が集落を作り、  
狩猟採集生活をしていたことが分かります。